

CSR報告書2015



株式会社ウチダ



トップメッセージ

Top Message



～棄てない・埋めない・燃やさない ウチダのリサイクル～

「株式会社ウチダ」は、1985年の創業以来今日に至るまで、【棄てない・埋めない・燃やさない】をキーワードに、廃棄物の100%再資源化を目指して処理を行っています。

当時の廃棄物処理は埋立や焼却が当たり前でしたが、当社では創立当初からリサイクル100%を目指して環境の時代の最先端を走り続けています。

株式会社ウチダは循環型社会の構築に寄与し続けます

今日の環境問題を考えるうえで、産業廃棄物処理業は特別な地位を占めています。適正処理を行い、再資源化を推進することは、環境保全活動そのものであると言い換えることができます。100%再資源化はそのための究極の目標であるといえます。

建築基準法第51条、廃棄物処理法第15条施設である当社の廃棄物処理施設は工業専用地域に位置しています。また破砕機をはじめとするほとんどの処理施設を自社で開発・製作するとともに、施設の維持管理も自ら徹底して行うことと併せて、常に環境負荷の少ない高品質な再資源化製品を提供できる体制を実現いたしました。この仕組みは多くのユーザー様から高い評価をいただくとともに、製品も数多くご愛用いただいております、循環型社会の構築に大きく寄与しています。

人・社会・地球にやさしい・・・

資源循環型社会への貢献こそが私たちの使命であると考えています。

自然との共生、地域社会との調和を図ることが当社の責務であり、そのために、常にリサイクル技術の推進と研究開発と施設の充実を図ることを通じて、リサイクルによる資源の循環的な利用と廃棄物の適正処理に努めていく、そんなことをウチダは常に考えています。

株式会社ウチダでは、コンプライアンス（法令順守、compliance）、CSR（企業の社会的責任、corporate social responsibility）の考え方を企業経営に取り込み、ISO14001認証に基づく環境管理や、労働安全衛生管理、定期的な社員教育、さらには、排出事業者の皆様への関係法令等の情報伝達、ホームページによる情報公開等を積極的に行うことにより、排出事業者、地域の皆様から更に信頼される企業を目指しています。

目次

Contents

会社概要	3
組織図	4
沿革	5
ハイライト	7
環境とのかかわり	10
地域・社会とのかかわり	19
お客様とのかかわり	20
社員とのつながり	22
第三者意見	24



馬も喜ぶウチダのオガコ
日本乗馬倶楽部の馬

会社概要

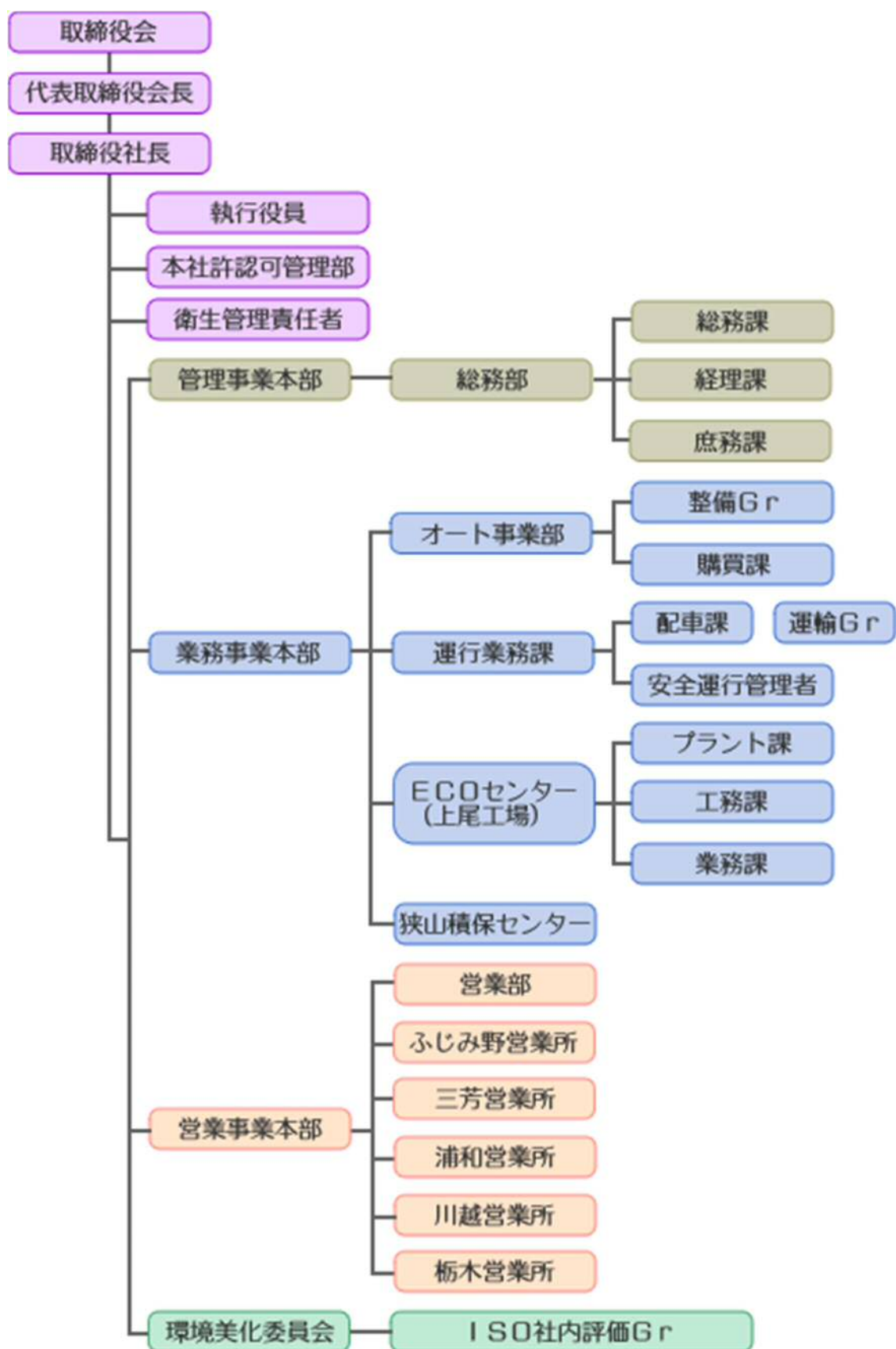
Company Guide



商 号	株式会社 ウチダ
資 本 金	5,000万円
会 社 設 立	1985年(昭和60年)2月20日
代 表 者 氏 名	代表取締役会長 内田 一二三
役 員	取締役社長 内田 千恵子 取締役 日野 弘幸 取締役 清水 健一 監査役 高田 登志夫 COO執行役員 内田 朋美
本 社	〒356-0034 埼玉県ふじみ野市駒林18番地 TEL: 049-263-9777
ふじみ野営業所	〒356-0052 埼玉県ふじみ野市苗間1-6-10 TEL: 049-293-1128 FAX: 049-293-1126
浦和営業所	〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂4-7-11
川越営業所	〒350-1131 埼玉県川越市岸町二丁目18番4号
三芳営業所	〒354-0043 埼玉県入間郡三芳町竹間沢450-17-101
栃木営業所	〒329-3437 栃木県那須郡那須町大字簗沢527-2
狭山積保センター	〒350-1313 埼玉県狭山市上赤坂字妻恋ヶ原589番地1他 *塩化ビニル管・継手管協会指定受入拠点
上 尾 工 場	〒362-0066 埼玉県上尾市領家字中井1119-1(上尾領家工業団地内) TEL: 048-782-0201(代) FAX: 048-782-0204 *塩化ビニル管・継手管協会指定受入拠点、塩ビ管・継手リサイクル契約 中間処理会社
栃 木 工 場	〒329-1411 栃木県さくら市鷺宿字大久保2864-1 (建設中)(設置許可 第300-4号、第300-5号)
事 業 内 容	産業廃棄物収集運搬業 営業地域: 関東一円 特別管理産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物処分業 産業廃棄物再生事業 一般廃棄物収集運搬業 一般建設業 埼玉県知事 許可(般-22)第51123号 土木工事業・とび・土工工事業・石工事業・鋼構造物工事業 舗装工事業・しゅんせつ工事業・水道施設工事業 リサイクル機器設計・製造・販売業 中古自動車販売業
従 業 員	76名(平成27年3月末現在)
主 要 取 引 銀 行	埼玉縣信用金庫(上福岡支店)・三菱東京UFJ銀行(新座志木支店) 三井住友銀行(上福岡支店)・武蔵野銀行(上尾支店)
加 盟 団 体	一般社団法人埼玉県環境産業振興協会 一般社団法人東京都産業廃棄物協会 公益社団法人栃木県産業廃棄物協会 一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 塩化ビニル管・継手協会(賛助会員)

組織図

Organization system



1985.2

有限会社内田商事 設立（埼玉県上福岡市）

'87.
10

埼玉県を中心に**産業廃棄物収集運搬事業**を開始 順次営業エリア拡大
営業部設置（埼玉県狭山市）

'92.
6

埼玉県富士見市に営業本部を設置
（みずほ台営業所）
狭山営業所は狭山積保センターに

'94.
9

埼玉県知事より建設業許可取得

1995.5

「株式会社ウチダ」に社名変更

資本金を5000万円に増額

'97.
5

産業廃棄物中間処分業を開始
（埼玉県許可取得）

'98.
6

廃棄物再生事業者登録取得
（埼玉県）

'98.
12

計量証明事業登録取得（埼玉県）

'00.
4

廃棄物破碎処理機の
自社開発に着手

'04.
1

ISO14001認証取得

'04.
1～

特別管理産業廃棄物収集運搬業を
開始

'04.
6

電子マニフェストシステム加入

'05.
1

一般貨物自動車運送事業
許可取得

'06.
12

更生保護事業への貢献がみとめられ、
さいたま保護観察所長より感謝状

'06.
1

'07.
3

緑のトラスト運動協力企業として
埼玉県知事より感謝状



'07.
3

上尾工場の保管施設を追加

11

狭山積保センターで石綿含有産業廃棄物の
積替え保管可能に

2008.12

上尾工場拡張

2010.2

東京都産廃エキスパート認定取得
(収取運搬業(積替え保管を除く))
2011.12更新認定取得

'10.
5

(社)埼玉県産業廃棄物協会より
「優良事業所表彰」を授与される

'11.
4

塩化ビニル管・継手協会の
契約中間処理工場に指定される
(受入拠点:上尾工場・狭山積保
センター)

2011,
2012

産業廃棄物収集運搬業、
産業廃棄物処分業 優良確認・
優良認定を受ける(埼玉県他)

'12.
6

緑のトラスト運動協力企業として埼玉県
知事より感謝状
(公社)全国産業廃棄物連合会より
「地方優良事業所表彰」を受ける

'12.
10

廃棄物再生事業者登録事業内容
の変更(埼玉県)

'13.
3

上尾工場の減容施設の廃止、保管施設
の追加・廃止・保管面積の拡大

'13.
8

上尾市社会福祉協議会より「感謝状」
を授与される

2014.12

東京都産廃エキスパート更新認定取得
(収取運搬業(積替え保管を除く))

2015.1

埼玉県多様な働き方実践企業認定取得
(シルバー)



埼玉県
KOBATON

★★★★

デジタルタコグラフの全車導入

株式会社ウチダでは平成25年10月にデジタルタコグラフを全車に搭載しました。
デジタルタコグラフとは車両の運行にかかる速度・時間等を自動的に記録する運行記録装置です。

導入したデジタルタコグラフは、運行データをリアルタイム通信で事務所に送信。運行管理、ドライバーの安全運転、労務管理をサポートしています。また、運転日報を確認することで、ドライバー自身の安全運転、エコドライブへの意識向上を図っています。



- 通信モジュール内蔵
- GPSモジュール内蔵
- 音声出力



データセンター

株式会社ウチダ
事務所

インター
ネット

運行データ



デジタルタコグラフを搭載した車両内部



GPSにより全車両の運行状況を把握

運転日報



ハイライト

Highlights

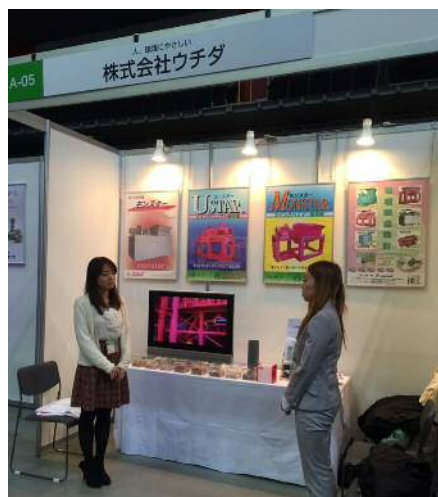
埼玉県多様な働き方実践企業に認定されました

埼玉県では、女性の力で埼玉経済を元気にする「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」を進めており、その一環として、「多様な働き方実践企業」を認定し、女性がいきいきと働き続けられる環境をつくり、従業員の仕事と子育て等の両立についての社会的気運の醸成を図っています。

株式会社ウチダも管理職（役員を含む）のうち女性が10%以上在籍していること等の認定基準を満たし、認定を受けました。



彩の国ビジネスアリーナ2015に出展



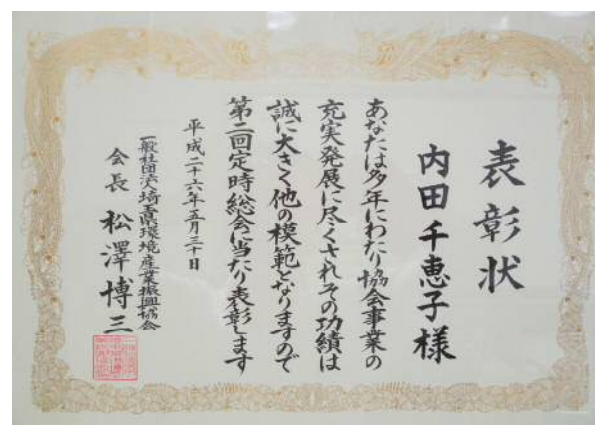
彩の国ビジネスアリーナ2015は、「世界をリードする技術が集結」をスローガンに、中小企業の受注確保・販路開拓、技術力向上等を目的とし、広域的な企業間ネットワーク形成による新たなビジネスチャンス創出の場を提供する展示商談会です。

平成27年1月28日、29日に開催され、株式会社ウチダもリサイクルシステムとゼロ・エミッションへの具体的活動について出展させていただきました。

沢山の方にブースにご来場いただき、弊社の活動をPRさせていただきました。

埼玉県環境産業振興協会から表彰されました

取締役社長 内田 千恵子が多年にわたり協会事業充実発展に尽くした功績が認められ、表彰を受けました。



「ウチダ」の木くずリサイクル



畜産農家の言葉

肉牛団地

ウチダの生産する木くずの敷料（おがこ）は、皮膚に刺さらないので牛や豚がとても喜びます。安心して寝そべることができるのでストレスが少なく、肉質の良い牛が育ちます。異物も全く混入していないので、人気が高く牧場間で取り合いをしているほどです。もっとたくさん供給するよう努力をお願いします。



農業生産者の言葉

キャベツ生産者

ウチダのおが粉を使った敷料に家畜ふんが混ざると、とてもバランスの良い堆肥ができます。他の堆肥と比べてキャベツの生育がとてもよく、1.5倍ほどの大きさに育ち、味がとても良いため、ブランドキャベツとして全量百貨店に販売しています。百貨店でも人気の商品だそうです。



環境とのかかわり

廃棄物取り扱い実績（平成25年度・26年度実績）

廃棄物受入量（m ³ ）		
	平成25年度	平成26年度
がれき類	8,284	9,412
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	11,060	9,989
廃プラスチック類	21,728	23,300
金属くず	4,439	4,282
紙くず	16,556	14,519
木くず	22,910	19,737
繊維くず	55	92
ゴムくず	6	3
合計	85,038	81,334



選別
破碎
圧縮・梱包
圧縮

リサイクル量（t）		
	平成25年度	平成26年度
がれき類	8,251	10,051
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	9,845	9,186
廃プラスチック類	6,956	6,358
金属くず	4,059	3,801
紙くず	4,966	4,349
木くず	12,598	10,854
繊維くず	6	10
ゴムくず	3	1
合計	46,684	44,610

総量（t）		
	平成25年度	平成26年度
総量	53,517	52,425

最終処分量（t）		
	平成25年度	平成26年度
最終処分量	6,833	7,815

リサイクル率（平成25年度・26年度実績）

廃棄物の種類	リサイクル量（t）		用途	リサイクル率（％）	
	平成25年度	平成26年度		平成25年度	平成26年度
木くず	12,598	10,854	畜産資材（敷料）	100	100
紙くず	4,966	4,349	製紙原料	80	80
			熱原料・固形燃料原料	6	9
			畜産資材	14	10
繊維くず	6	10	畜産資材	71	73
			ダスタークロス原料	17	17
がれき類	8,251	10,051	再生砕石	67	72
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	9,845	9,186	再生砕石	74	80
			石膏原料	15	9
廃プラスチック類	6,956	6,358	農家資材	1	1
			熱原料	12	12
			プラスチック原料	78	65
金属くず	4,059	3,801	製造原料	81	78
ゴムくず	3	1	製造原料	97	93
合計	46,684	44,610		87	85

環境とのかかわり

ISO14001の取り組み

株式会社ウチダでは、2004年1月30日、ISO14001認証を取得しました。

認証に基づき、企業活動によって生じる環境への負荷を、常に低減するよう配慮、改善を行っています。

登録概要

社名	株式会社ウチダ
適用規格	BS EN ISO 14001 : 2004
登録番号	AJA04/7152
登録年月日	2004年1月30日
再登録年月日	2009年2月11日 2012年2月11日 2015年2月11日
有効期限	2018年2月11日
登録範囲	廃棄物の収集運搬・処分、破砕機の製造・販売、中古自動車の購入・販売
登録事業所	本社、販売本部（ふじみ野営業所）、Eco. Amusement Park in AGEO



環境理念

株式会社ウチダは産業廃棄物処理業の一員として良質な社会資本の形成を通し、より豊かな生活を実現する為に重要な役割と責任を担っています。当社の行う事業は環境との係わりが深く、その事業活動の中で環境保全に取り組んで行くことは企業としての当然の責務でもあります。このような観点に立って当社は自らの事業活動における環境負荷の低減はもとより、よりよい環境の創造に努め人間にとって真に快適な環境創造の担い手として経済の発展と環境の保全とが持続的に共存する新しい社会の実現を目指します。

基本方針

当社は環境法規制等のもとより、当社が同意した環境に関する外部からの要求事項についてもこれを順守します。

当社は産業廃棄物処理事業活動において、公害防止や汚染予防に常に取り組んでおります。

省資源、省エネルギー、副産物のリサイクル等を含め、汚染回避・低減・管理に積極的に取り組み、環境負荷の低減を図ります。

環境目的・目標の設定・目標達成のための実施計画を策定・実施し、それらの見直しや是正・予防措置を通じ環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

この環境方針は当社内の全社員に周知するほか、社外に開示します。

株式会社ウチダ 代表取締役

内田 一三

環境とのかかわり

平成26年度活動実績・27年度活動目標

項 目	平成26年度		達成度	平成27年度 目標
	目標	実績		
省エネルギーへの取り組み				
ふじみ野事業所				
事業所へのパッシブソーラーハウスの導入（2008年）	維持	維持	○	維持
水道水浄化用浸透膜装置の導入（2008年）	維持	維持	○	維持
太陽光発電装置の導入（2008年）	1,600Kwhの売電	1,112Kwhの売電	△	1,600Kwhの売電
グリーン調達の推進	購入額の25%	購入額の55.7%	◎	購入額の60%
カーボンオフセット付名刺の導入	導入率15%	導入率18%	◎	導入率20%
上尾工場				
エコドライブの徹底	5Km/L	5.08Km/L	○	5.1Km/L
ドライバーズマニュアル（2009年策定）の周知徹底	継続	継続	○	継続
CO ₂ 排出量	前年比1%減	1,868.4t-CO ₂	6%増	前年比1%減
環境対応車両の導入（導入比率）	28台/80台	28台/80台	○	28台/80台
事業所・工場の照明LED化推進	10%/年	45%/年	◎	全照明の60%
エコドライブの推進 （ドライブレコーダー、デジタルタコメーターの導入推進）	維持	維持	○	維持
BEMS（ビル・工場エネルギーマネジメントシステム）導入検討の開始	FSの実施	未実施	×	FSの実施
資源の有効利用の推進				
リサイクル率の向上 現在のリサイクル率 5年後に100%を目標とする	95%	85%	△	95%
工場施設メンテナンスの内製化による長期使用と効率化の推進	95%	維持	○	95%
収集運搬車両のメンテナンス内製化による長期使用の推進	95%	95.3%	○	95%
生物多様性の確保				
木くずの再資源化の推進（量の拡大） 敷料⇒堆肥化⇒有機減農薬農法の推進⇒生態系への環境負荷の軽減	前年比3%増	前年比13.8%減	×	前年比3%増
水田・芋畑の管理、協力	5.5 t 収穫	5.5 t 収穫	○	5.5 t 収穫

環境とのかかわり

製造部門の実績

株式会社ウチダは産業廃棄物の処理だけではなく、処理機械の開発・製造・販売・維持管理も行っています。



環境展にて

製造装置の一例

モンスター	スリースター	ユニバーサルクラッシャー
 モンスター MONSTAR スイングハンマー破碎機 ダイレクトモータードライブ方式採用 レオシリーズ  ウチダ	廃プラスチック用破碎機 スリースター simple and powerful  three star  ウチダ uchida co., LTD.	— スイングハンマー式破碎機 — ユニバーサルクラッシャー   ウチダ uchida co., LTD.
用途：木くず、石膏ボード、紙くず、廃畳、硬質プラスチックの破碎 大型大容量処理破碎機。投入口を特に広く設計。一次破碎機に最適。 特殊構造の投入スロープ床により細かな木くず、石膏片も吸引。カップリングを介したダイレクトモータードライブ方式を採用。	用途：軟質プラスチック、硬質プラスチック、繊維くず、紙くず、木くずの破碎 軟質、硬質を問わずあらゆるプラスチック製品を剪断破碎。軟質プラスチック（特にシート系）の処理能力が抜群に向上。低振動、低騒音。 バリエーション豊かなロストルと固定刃の組み合わせにより、粒度調整が可能。	用途：木くず、硬質プラスチック、石膏ボード、廃畳の破碎 特殊構造の投入口スロープ床により、細かな木くず、石膏も吸引。コンパクト。

*いずれも、シンプルな構造の為、頑健。消耗品の交換等保守点検も容易です。

販売実績

納入先	納入機器
北海道旭川市	モンスター・ユースター・振動ふるい機・風力選別機・バーク用破碎機（振動ふるい付）
埼玉県岩槻市	ユースター・磁選機・ベルトコンベアー・ユースター用モーター
沖縄県具志川市	モンスター
愛媛県西条市	モンスター・磁選機・ベルトコンベアー
新潟県新潟市	圧縮梱包機
静岡県浜松市	振動ふるい機

環境とのかかわり

製造装置設置例

「モンスタージュニア」と「ベルトコンベアー」「磁選機」を設置。塩ビ管・継手を破碎して塩ビペレット（チップ）を製造。



「モンスター」と「ユースター」を設置。オガコを製造。



装置のメンテナンス例とパーツ保管

溶接



破碎機の刃の再生もりつけ



破碎機の刃



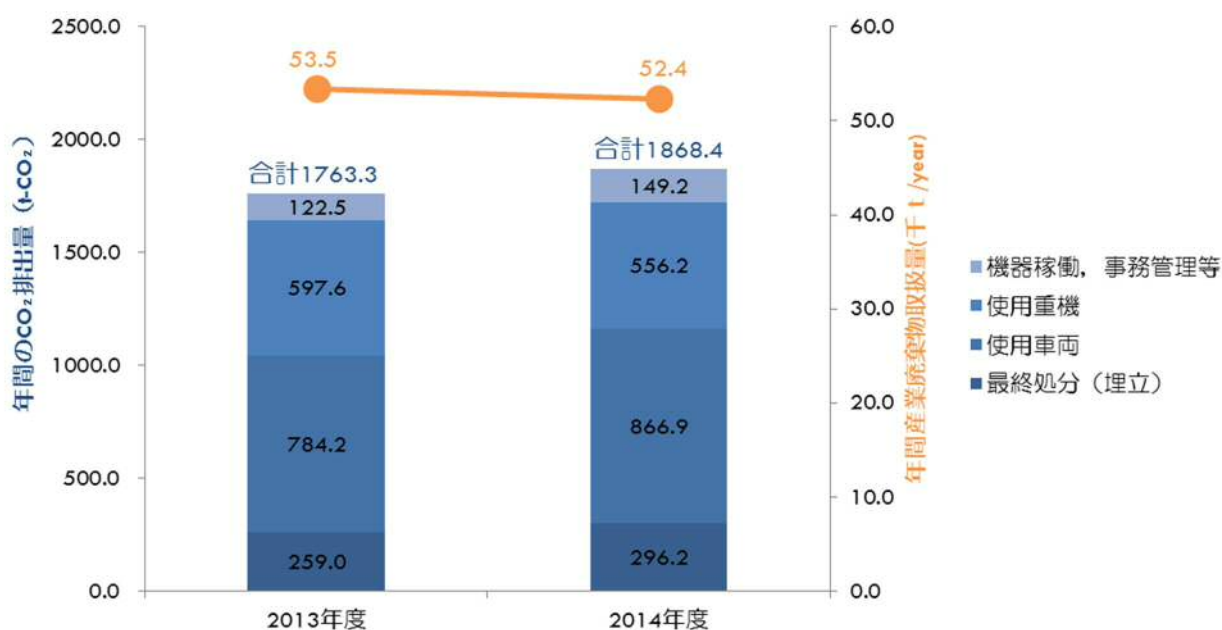
ロストル ふるい機の部品

環境とのかかわり

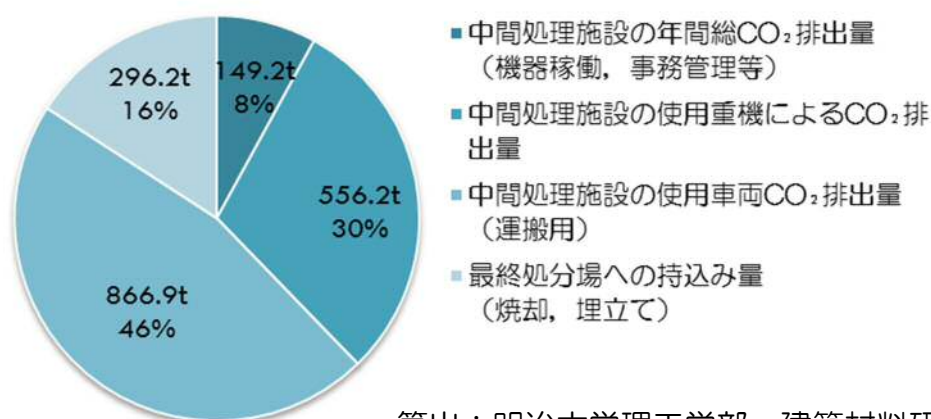
CO₂排出量（平成25年度・平成26年度）

項目		2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)
産業廃棄物取扱量 (t)		53,517	52,425
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	中間処理施設の年間総CO ₂ 排出量 (機器稼働, 事務管理等)	122.5	149.2
	中間処理施設の使用重機によるCO ₂ 排出量	597.6	556.2
	中間処理施設の使用車両によるCO ₂ 排出量 (運搬用) 注)	784.2	866.9
	最終処分によるCO ₂ 排出量 (埋立)	259.0	296.2
	合 計	1,763.3	1,868.4

注) 産業廃棄物輸送における運搬車両全体のCO₂排出量である。



年間CO₂排出量内訳
2014年度



算出：明治大学理工学部 建築材料研究室

環境とのかかわり

CO₂排出量の明細

使用電力によるCO₂排出量

$$\text{CO}_2\text{排出量}[\text{t-CO}_2] = \text{電力消費量}[\text{kWh}] \times \text{使用電力会社排出係数} [\text{t-CO}_2/\text{kWh}]$$

2013の東京電力排出係数 0.41×10^{-6}
 2014の東京電力排出係数 0.52×10^{-6}

- 太陽光発電による電力売却分は合計に対し減算



➤ 電力消費量は減少しているが、東京電力における排出係数が増えているため、CO₂排出量としては増加。

項目	2013年度		2014年度	
	エネルギー消費量 (kWh/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	エネルギー消費量 (kWh/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
上尾	289,461	117.5	273,366	142.4
ふじみ野	14,001	5.7	14,084	7.3
太陽光発電(売却)	-1,651	-0.7	-1,112	-0.6
合計	301,811	122.5	286,338	149.2

使用重機によるCO₂排出量

$$\text{CO}_2\text{排出量}[\text{t-CO}_2] = \text{燃料消費量}[\text{kl}] \times \text{使用燃料排出量算定係数}[\text{t-CO}_2/\text{kl}]$$



- VP燃料、fuLは灯油を基剤とし添加剤を加えた燃料のため、排出量算定係数は灯油の係数を使用

➤ 燃料消費量が減少しているのに伴いCO₂排出量も減少。排出量算定係数が低いガソリンの使用率が高くなったことも一因。

項目	排出量算定係数 (t-CO ₂ /kl)	2013年度		2014年度	
		エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
ガソリン	2.32	1.5	3.6	4.5	10.3
軽油	2.58	59.5	153.6	78.0	201.1
その他 (VP燃料)	2.49	176.9	440.5	126.2	314.2
その他 (fuL燃料)	2.49	0.0	0.0	12.2	30.5
合計		238.0	597.6	220.8	556.2

運搬車両によるCO₂排出量（燃料法）

$$\text{CO}_2\text{排出量}[\text{t-CO}_2] = \text{燃料消費量}[\text{kl}] \times \text{使用燃料排出量算定係数}[\text{t-CO}_2/\text{kl}]$$

- 中間処理施設への搬入、中間処理施設からの搬出の合計



➤ 燃料消費量が増加しているのに伴いCO₂排出量も増加。受入量は減少したが最終処分量が増加したことから燃料消費量が増大したと考えられる。

項目	排出量算定係数 (t-CO ₂ /kl)	2013年度		2014年度	
		エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
ガソリン	2.32	17.1	39.8	9.9	22.9
軽油	2.58	274.0	706.9	317.1	818.0
CNG・LPガス	3.00	12.5	37.6	8.6	25.9
合計		303.7	784.3	335.6	866.9

最終処分によるCO₂排出量

$$\text{CO}_2\text{排出量}[\text{t-CO}_2] = \text{廃棄物持ち込み量}[\text{t}] \times \text{廃棄物処理原単位}[\text{t-CO}_2/\text{t}]$$

- 中間処理後の焼却、埋立処分（委託処理）について算出
- 焼却量は2013年、2014年ともにOt

➤ 埋立処分量増加に伴いCO₂排出量も増加。

項目	廃棄物処理原単位 (t-CO ₂ /t)	2013年度		2014年度	
		廃棄物持ち込み量 (t/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	廃棄物持ち込み量 (t/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
埋立処分(委託処理)	0.0379	6,832.8	259.0	7,814.8	296.2

算出：明治大学理工学部 建築材料研究室

環境とのかかわり

優良確認・認定

優良産業処理業者認定制度とは、常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産業処理業者を、都道府県・政令市が審査して認定する制度です。平成22年度の廃棄物処理法改正に基づいて創設されました。

株式会社ウチダでは、廃棄物処理法改正前の旧制度（優良性評価制度）から情報開示等を進め、平成23年5月から順次、埼玉県 産業廃棄物処分業、東京都、埼玉県、群馬県、千葉県、神奈川県 の産業廃棄物収集運搬業で優良確認・認定を受けています。

※優良認定は、産業廃棄物処理業の許可更新時に各都道府県・政令市による審査を受け優良基準に適合することの認定を受けるものです。優良確認とは、許可更新時ではない任意の時点で審査、確認を受けるものです。

※東京都については、「産廃エキスパート」認定（収集運搬業 積替え保管を除く）も第1回認定（平成22年2月）から継続して取得しております。（認定番号2-11-A0046）

許可番号 01120030676

産業廃棄物処分業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社 ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

産業物の処理及び運搬に関する法律第14条の2第1項の許可を受けた者であることを証する。

埼玉県知事 上田 清司

許可の年月日 平成20年12月17日
許可の有効年月日 平成26年5月26日

1. 事業の範囲（処分の方法ごとに区分して取り扱う産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に右欄の有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。）を記載すること。）
中間処分業
紙屑：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず。がれき類 以上8種類
紙屑：廃プラスチック類（塩化ビニルを除く。）、紙くず（圧縮固化に適したものに限る。）、
木くず（圧縮固化に適したものに限る。）、繊維くず（圧縮固化に適したものに限る。）
以上4種類
圧縮梱包：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず 以上3種類
圧縮：金属くず 以上1種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置許可を受けている場合は限る。）を記載すること。）
施設等の所在地
埼玉県上田市大字家字中月1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、
1119番1、1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、
1120番7、1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、
1146番7 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
中間処分及び処分に伴う保管は、2.に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成9年5月27日	指令第157号	新規許可
平成13年5月31日	指令中環第23号	優良確認
平成14年3月18日	—	変更届（保管施設の追加及び廃止並びに1種類の指定の追加）
平成14年3月1日	—	変更届（保管面積の縮小及び保管高さの増大）
平成15年3月27日	—	変更届（保管施設の増設、保管施設の追加及び廃止並びに保管面積の拡大）

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無

許可番号 01120030676

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社 ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

産業物の処理及び運搬に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

埼玉県知事 上田 清司

許可の年月日 平成23年1月3日
許可の有効年月日 平成28年10月2日

1. 事業の範囲（取り扱う産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に右欄の有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。）及び種類ごとに保管を行うかどうかを併記すること。）
収集・運搬業
紙屑：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず。がれき類 以上8種類
紙屑：廃プラスチック類（塩化ビニルを除く。）、紙くず（圧縮固化に適したものに限る。）、
木くず（圧縮固化に適したものに限る。）、繊維くず（圧縮固化に適したものに限る。）
以上4種類
圧縮梱包：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず 以上3種類
圧縮：金属くず 以上1種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置許可を受けている場合は限る。）を記載すること。）
施設等の所在地
埼玉県上田市大字家字中月1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、
1119番1、1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、
1120番7、1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、
1146番7 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
収集運搬に伴う保管は、2.に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成9年5月27日	指令第157号	新規許可
平成13年5月31日	指令中環第23号	優良確認
平成14年3月18日	—	変更届（保管施設の追加及び廃止並びに1種類の指定の追加）
平成14年3月1日	—	変更届（保管面積の縮小及び保管高さの増大）
平成15年3月27日	—	変更届（保管施設の増設、保管施設の追加及び廃止並びに保管面積の拡大）

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無

許可番号 01120030676

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社 ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

産業物の処理及び運搬に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

埼玉県知事 黒岩 祐治

許可の年月日 平成24年4月11日
許可の有効年月日 平成31年3月22日

1. 事業の範囲（取り扱う産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に右欄の有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。）及び種類ごとに保管を行うかどうかを併記すること。）
収集・運搬業
紙屑：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず。がれき類 以上8種類
紙屑：廃プラスチック類（塩化ビニルを除く。）、紙くず（圧縮固化に適したものに限る。）、
木くず（圧縮固化に適したものに限る。）、繊維くず（圧縮固化に適したものに限る。）
以上4種類
圧縮梱包：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず 以上3種類
圧縮：金属くず 以上1種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置許可を受けている場合は限る。）を記載すること。）
施設等の所在地
埼玉県上田市大字家字中月1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、
1119番1、1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、
1120番7、1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、
1146番7 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
収集運搬に伴う保管は、2.に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成9年5月27日	指令第157号	新規許可
平成13年5月31日	指令中環第23号	優良確認
平成14年3月18日	—	変更届（保管施設の追加及び廃止並びに1種類の指定の追加）
平成14年3月1日	—	変更届（保管面積の縮小及び保管高さの増大）
平成15年3月27日	—	変更届（保管施設の増設、保管施設の追加及び廃止並びに保管面積の拡大）

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無

許可番号 01120030676

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社 ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

産業物の処理及び運搬に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

千葉県知事 鈴木 栄

許可の年月日 平成22年9月25日
許可の有効年月日 平成29年9月24日

1. 事業の範囲（取り扱う産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に右欄の有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。）及び種類ごとに保管を行うかどうかを併記すること。）
収集・運搬業
紙屑：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず。がれき類 以上8種類
紙屑：廃プラスチック類（塩化ビニルを除く。）、紙くず（圧縮固化に適したものに限る。）、
木くず（圧縮固化に適したものに限る。）、繊維くず（圧縮固化に適したものに限る。）
以上4種類
圧縮梱包：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず 以上3種類
圧縮：金属くず 以上1種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置許可を受けている場合は限る。）を記載すること。）
施設等の所在地
千葉県市川市大字家字中月1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、
1119番1、1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、
1120番7、1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、
1146番7 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
収集運搬に伴う保管は、2.に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成9年5月27日	指令第157号	新規許可
平成13年5月31日	指令中環第23号	優良確認
平成14年3月18日	—	変更届（保管施設の追加及び廃止並びに1種類の指定の追加）
平成14年3月1日	—	変更届（保管面積の縮小及び保管高さの増大）
平成15年3月27日	—	変更届（保管施設の増設、保管施設の追加及び廃止並びに保管面積の拡大）

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無

許可番号 01120030676

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社 ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

産業物の処理及び運搬に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

東京都知事 石原 慎太郎

許可の年月日 平成23年5月16日
許可の有効年月日 平成30年5月15日

1. 事業の範囲（取り扱う産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に右欄の有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。）及び種類ごとに保管を行うかどうかを併記すること。）
収集・運搬業
紙屑：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず。がれき類 以上8種類
紙屑：廃プラスチック類（塩化ビニルを除く。）、紙くず（圧縮固化に適したものに限る。）、
木くず（圧縮固化に適したものに限る。）、繊維くず（圧縮固化に適したものに限る。）
以上4種類
圧縮梱包：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず 以上3種類
圧縮：金属くず 以上1種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置許可を受けている場合は限る。）を記載すること。）
施設等の所在地
東京都上野区荒川1-1-1 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
収集運搬に伴う保管は、2.に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成9年5月27日	指令第157号	新規許可
平成13年5月31日	指令中環第23号	優良確認
平成14年3月18日	—	変更届（保管施設の追加及び廃止並びに1種類の指定の追加）
平成14年3月1日	—	変更届（保管面積の縮小及び保管高さの増大）
平成15年3月27日	—	変更届（保管施設の増設、保管施設の追加及び廃止並びに保管面積の拡大）

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無

許可番号 01120030676

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社 ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

産業物の処理及び運搬に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

群馬県知事 大澤 正明

許可の年月日 平成22年7月4日
許可の有効年月日 平成29年7月3日

1. 事業の範囲（取り扱う産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に右欄の有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。）及び種類ごとに保管を行うかどうかを併記すること。）
収集・運搬業
紙屑：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず。がれき類 以上8種類
紙屑：廃プラスチック類（塩化ビニルを除く。）、紙くず（圧縮固化に適したものに限る。）、
木くず（圧縮固化に適したものに限る。）、繊維くず（圧縮固化に適したものに限る。）
以上4種類
圧縮梱包：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず 以上3種類
圧縮：金属くず 以上1種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置許可を受けている場合は限る。）を記載すること。）
施設等の所在地
群馬県上野村大字家字中月1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、
1119番1、1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、
1120番7、1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、
1146番7 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
収集運搬に伴う保管は、2.に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成9年5月27日	指令第157号	新規許可
平成13年5月31日	指令中環第23号	優良確認
平成14年3月18日	—	変更届（保管施設の追加及び廃止並びに1種類の指定の追加）
平成14年3月1日	—	変更届（保管面積の縮小及び保管高さの増大）
平成15年3月27日	—	変更届（保管施設の増設、保管施設の追加及び廃止並びに保管面積の拡大）

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無

許可番号 01120030676

産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏名 株式会社 ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優良

産業物の処理及び運搬に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

千葉県知事 大澤 正明

許可の年月日 平成22年7月4日
許可の有効年月日 平成29年7月3日

1. 事業の範囲（取り扱う産業廃棄物の種類（当該産業廃棄物に右欄の有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。）及び種類ごとに保管を行うかどうかを併記すること。）
収集・運搬業
紙屑：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず。がれき類 以上8種類
紙屑：廃プラスチック類（塩化ビニルを除く。）、紙くず（圧縮固化に適したものに限る。）、
木くず（圧縮固化に適したものに限る。）、繊維くず（圧縮固化に適したものに限る。）
以上4種類
圧縮梱包：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず 以上3種類
圧縮：金属くず 以上1種類

2. 事業の用に供するすべての施設（施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号（産業廃棄物処理施設の設置許可を受けている場合は限る。）を記載すること。）
施設等の所在地
千葉県市川市大字家字中月1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、
1119番1、1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、
1120番7、1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、
1146番7 以上17筆（面積4,465.40㎡）に限る。
処理施設及び保管施設の概要は裏面のとおり。

3. 許可の条件
収集運搬に伴う保管は、2.に掲げる場所で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可（届出）年月日	指令番号	変更内容
平成9年5月27日	指令第157号	新規許可
平成13年5月31日	指令中環第23号	優良確認
平成14年3月18日	—	変更届（保管施設の追加及び廃止並びに1種類の指定の追加）
平成14年3月1日	—	変更届（保管面積の縮小及び保管高さの増大）
平成15年3月27日	—	変更届（保管施設の増設、保管施設の追加及び廃止並びに保管面積の拡大）

5. 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 有・無

環境とのかかわり

各種試験結果報告

試験・分析の内容	試験実施日	試験・分析の結果
混合廃棄物（中間処理破砕物）の放射性セシウム濃度試験	平成26年4月21日 平成27年3月3日	放射性ヨウ素I-131 不検出 放射性セシウムCs-134 不検出 放射性セシウムCs-137 20Bq/kg
混合廃棄物（中間処理破砕物）の熱しゃく減量計量	平成26年3月17日	4.23%
おがこの肥料分析	平成19年3月2日	クロム、カドミウム、鉛、ヒ素、水銀、ニッケル いずれも不検出
おがこの食品衛生検査	平成26年9月4日 平成27年3月12日	黄色ブドウ球菌 陰性 E.Coli 1.1×10 ⁴ 以上/100g 2.9×10 ³ /100g 30未満/100g（不検出） サルモネラ 陰性 腸管出血性大腸菌O-157 陰性

混合廃棄物（中間処理破砕物）
の放射性セシウム濃度試験

おがこの肥料分析

試験結果報告書
第1404-230-01号(1/1)
平成26年4月23日

株式会社ウチダ 様

試験品名: 混合廃棄物(中間処理破砕物)

依頼者: 一般社団法人 埼玉県環境衛生センター

試験内容: 放射性ヨウ素I-131, 放射性セシウムCs-134, 放射性セシウムCs-137

結果: 放射性ヨウ素I-131 不検出, 放射性セシウムCs-134 不検出, 放射性セシウムCs-137 20Bq/kg

以下余白

混合廃棄物（中間処理破砕物）
の熱しゃく減量計量

試験結果報告書
第1404-230-01号(1/1)
平成26年4月23日

株式会社ウチダ 様

試験品名: 混合廃棄物(中間処理破砕物)

依頼者: 一般社団法人 埼玉県環境衛生センター

試験内容: 熱しゃく減量計量

結果: 4.23%

以下余白

分析報告書
第1404-230-01号(1/1)
平成26年4月23日

株式会社ウチダ 様

試験品名: 混合廃棄物(中間処理破砕物)

依頼者: 一般社団法人 埼玉県環境衛生センター

試験内容: 放射性ヨウ素I-131, 放射性セシウムCs-134, 放射性セシウムCs-137

結果: 放射性ヨウ素I-131 不検出, 放射性セシウムCs-134 不検出, 放射性セシウムCs-137 20Bq/kg

以下余白

おがこの食品衛生検査

試験検査成績書
第1404-230-01号(1/1)
平成26年4月23日

株式会社ウチダ 様

試験品名: 混合廃棄物(中間処理破砕物)

依頼者: 一般社団法人 埼玉県環境衛生センター

試験内容: 放射性ヨウ素I-131, 放射性セシウムCs-134, 放射性セシウムCs-137

結果: 放射性ヨウ素I-131 不検出, 放射性セシウムCs-134 不検出, 放射性セシウムCs-137 20Bq/kg

以下余白

地域・社会とのかかわり

地域農業支援



さつまいもの収穫作業



収穫されたさつまいも

地域清掃活動

平成26年4月19日、20日に開催された「アースデイ東京2014」に、（一社）東京都産業廃棄物協会の一員として、ごみゼロステーションの運営、イベント会場の周辺の清掃活動に参加しました。



震災復興支援事業に寄付しました

特定非営利活動法人宇都宮まちづくり市民工房が行っている、震災復興支援事業「ひろのカフェin関船」に寄付させていただきました。

「ひろのカフェin関船」は宇都宮市の仮設住宅に住んでいる皆様のために定期的に行われている交流会です。

東日本大震災から4年以上経過してもなお、仮設住宅で生活をしている皆様のために、少しでもお役にたてればと思っております。

お客様とのかかわり

工場見学会

株式会社ウチダでは、お客様である廃棄物の排出事業者の皆様をはじめ、広く一般に、随時処理施設の見学を受け入れています。

排出事業者の皆様には、現場で分別された廃棄物が処理される様子や、自社開発のリサイクル機器の性能、工場での環境配慮の実際をご確認頂いております。



平成26年4月24日実施 排出事業者による見学の様子



平成26年5月15日実施 排出事業者による見学の様子



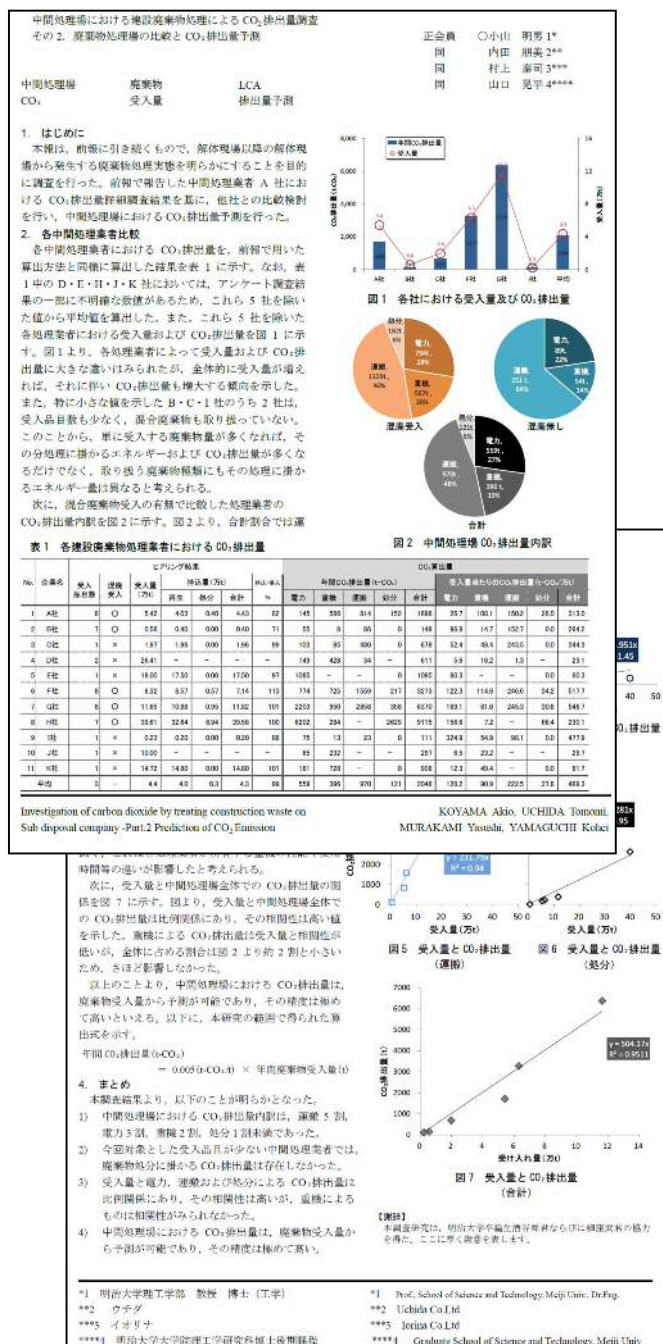
平成26年7月9日実施
排出事業者による見学の様子



平成27年2月5日実施
排出事業者による見学の様子

「中間処理場における
建設廃棄物処理による
CO₂ 排出量調査」に協力
日本建築学会大会[近畿]で研究結果を
発表しました

研究結果は2014年度日本建築学会大会[近畿]（平成26年9月12日～14日）で発表され、株式会社ウチダからは執行役員の内田朋美が発表して参りました。



社員とのつながり

社内勉強会

株式会社ウチダでは、産業廃棄物処理業をはじめとする各分野で、社員ひとりひとりがプロフェッショナルとして通用する人材に育つよう、

資格取得の奨励はもとより、定期的に環境関連法令等の社内勉強会を開催したり、外部講習会へ積極的に参加させるなどして、社員教育、人材育成に力を入れています。



＜平成26年度社内勉強会実施状況＞

日 付	内 容
平成26年5月31日	⌘ 石綿取扱い作業従事者特別教育 2 / 2
平成26年6月26日 平成26年7月30日	⌘ 解体工事業者の工事上の注意点と廃棄物処理に関する法律について 建設業法改正による解体工事業の業許可について、建設業の社会保険未加入対策、建設リサイクル法の概要、石綿含有産業廃棄物について（H26.6施行大気汚染防止法の改正含む）、埼玉県 再生砕石等製造施設への石綿含有産業廃棄物の混入防止等について、有害物質を含有した石膏ボードの有無の確認方法について、建築物の解体時における残置物の取扱いについて、有価物と専ら物（廃棄物該当性の判断含む）、建設混合廃棄物とふるい下残さについて、木くずの現状と将来 がれき類の現状と将来 汚泥・残土の現状と将来 建設混合廃棄物の 現状と将来（国土交通省 建設リサイクル推進に係る方策（とりまとめ案）から） ⌘ 災害公営住宅について ⌘ 他社処理施設の事例
平成26年8月30日	⌘ マニフェスト記入方法について（質疑応答）
平成26年9月20日 平成26年10月25日	⌘ マニフェスト詳細・建設廃棄物発生量について
平成26年11月29日	⌘ 排出事業者書類送検の事例 ⌘ 従業員が不法投棄したら会社はどうなる？ ⌘ 東日本大震災被災地視察写真（平成26年11月22、23日）
平成27年2月16日	⌘ 窯業系サイディングについて ⌘ 産業廃棄物と一般廃棄物 ⌘ 過積載について ⌘ 車両荷台制限について ⌘ 紙マニフェストの一部を紛失したら ⌘ 最終処分場 処分業・施設使用停止命令の事例 ⌘ 京都市 建設工事から発生する産業廃棄物の適正処理の徹底について

＜平成26年度外部講習会受講状況＞

修了日	講習会の名称	実施者	了証番号・人数
平成27年2月3日	東京都23区（特別区）指定一般廃棄物処理業許可更新講習	一般財団法人 日本環境衛生センター	第14109号 1名

社員とのつながり

安全衛生の取り組み

株式会社ウチダでは、日々安全を念頭におきながら企業活動を行っていくため、安全衛生教育や労働安全衛生についての委員会活動を行っています。

平成26年6月15日実施 全体会議



場内安全標識



事故防止のため重機と人の動線を区画するパイロンとバーの設置、RL2マスク装着



作業手順書



安全帯の使用



第三者意見

1. 株式会社ウチダの企業姿勢について

産業廃棄物処理業の中心を占める中間処理業に求められるポイントを要約すると次のように表現することができます。

- ① 適切な情報公開がなされていること
- ② リサイクル率が極めて高いこと
- ③ 確実なリサイクル先を確保していること

株式会社ウチダをこれらの観点から確認すると、いずれのポイントも十分に排出事業者をはじめとする社会の要請に ứngしていることがわかります。特に木くずのリサイクルはその典型で、自社製造の破砕機で破砕した木くずが牧場において敷料として使用された後に農作物の肥料となり自然に帰るといふ、きれいなリサイクルループを描いています。

他社にはないウチダのもう一つの特徴は、プラント製造事業者でもあることです。この強みを活かして行ふ、施設の日常的な改善とメンテナンスの内製化は、施設稼働の安定化とリサイクル製品の高品質化の点において大きな強みを發揮しています。

この企業姿勢は同業他社だけでなく、多くの製造業にとっても学ぶ価値のあるものだと思います。

2. 株式会社ウチダに期待すること

一方で26年度の活動実績を見てみると、木くずの取り扱い量の減少が目につきます。また、施設全体のエネルギー削減施策については消極的な印象を受けます。特に「BEMS」の導入は、積極的な取り組みを期待します。導入済みの企業の多くは大幅なエネルギー削減を実現させています。

リサイクル困難な土砂の多量受入等、個別要因による影響が大きいことはわかりますが、リサイクル率の低下も若干気になるところです。このレベルのリサイクル率を維持し続けること自体が大変な困難を伴うものであり、更なる高みを目指すことはより多くの困難に立ち向かうことを意味します。木くずの取り扱い量の増加施策を含め、その高みを目指して積極的な活動にまい進することを期待いたします。

早稲田大学 環境総合研究センター
招聘研究員 上川路 宏

ご意見をいただいて

大変貴重なご意見を頂き、誠に有難うございます。

平成26年4月の消費税増税や建設業界の人手不足による現場減少・停滞や建設資材の高騰、また、適正処理の為に弊社処分料金を見直させて頂いた事により、26年度は全体的に受入量が減少致しました。

一方で、公共道路の建設現場が増え、重量系の廃棄物が増えた事がCO2排出量増加に繋がったのではないかと推測します。

27年度は東京五輪に伴う首都圏の再開発による需要増加が期待されています。社員一同、志を高く持ち、引き続きエネルギー削減とリサイクル率向上に努めていきたいと思っております。

株式会社ウチダ CSR実行委員長 内田 朋美



営業本部
(ふじみ野営業所)

〒356-0052 埼玉県ふじみ野市苗間1-6-10
TEL：049-293-1128 FAX：049-293-1126

ECO.AMUSEMENT PARK IN
AGEO (上尾工場)

〒362-0066 埼玉県上尾市領家字中井1119-1
TEL：048-782-0201 FAX：048-782-0204

E-mail: e-eco-uchida@bh.wakwak.com